

イノベーター育成プログラム

「革超」

Produced by 大阪工業大学

「革超」とは

新たな能力の獲得と、内省から自己概念の範囲を広げることで参加者の自己を「拡張」し、「革」新的で、既存の枠組みを「超」える価値を社会に提供するイノベーターを育成することを目的とした事業アイデア創出プログラム

事業アイデア創出講座/自己拡張プログラム概要

事業アイデア創出講座

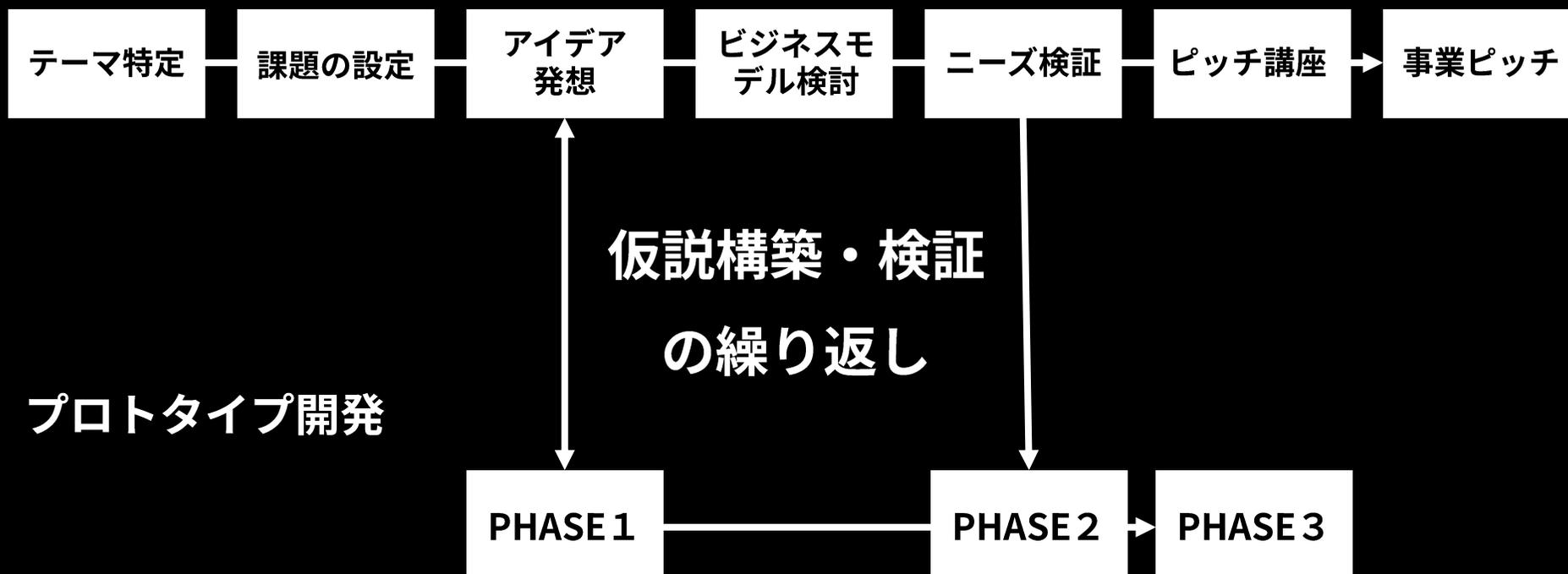
- ・全8回の通年講座（キックオフと発表会を除く）
- ・重要度の高い社会問題から自身取り組みたい課題を特定し、参加者同士でチームを組み、アイデア発想、ビジネスモデル構築、プロトタイプ開発を行い、事業アイデアをピッチコンテストにて発表
- ・参加者は大学生を対象に、高校生や社会人も関係なく合計30~50人程度募集

自己拡張プログラム

- ・テクノロジー活用への抵抗を低減するための初心者向けテクノロジー活用ワークショップと自分を表現することへの抵抗を低減するための自己表現ワークショップを合計6回実施
- ・テクノロジー活用ワークショップはプログラミング、センサー活用、機械学習、AI活用をテーマとし、自己表現ワークショップは演劇やアート製作をテーマとする
- ・参加者対象者は事業アイデア創出講座と同様に制限をかけず、毎回合計20人程度募集

事業アイデア創出講座内容

事業アイデア構築



講座時間以外での活動



チーム単位で打ち合わせ

講座で得た手法を活用して、事業アイデアの創出、ブラッシュアップ、ニーズ検証など必要な作業を行う
2週間で1~2回単位でオンライン、もしくは対面で実施する

協力して成果を目指すための
チームビルディング講座

①チームとは何か？

株式会社タパネル
代表取締役 奥田和広

自己拡張プログラムへの参加、動画教材の視聴

講座とは別に開催する自己拡張プログラムに積極的に参加する
また、CIDReが提供している動画教材を視聴し、イノベーションを
生み出すために必要な知識をチームの共有知識として浸透させる



プロトタイプ開発

大阪工業大学8階の起業環境設備を活用し、必要であれば技師に相談しながら事業アイデアを実現するうえで必要なプロトタイプを製作
予算は後のスライドで説明

事業アイデアのテーマ

大テーマ 2030年の関西の観光産業を支える事業

関西の観光資源の目玉であった2025大阪関西万博が終了し、また中国との関係悪化によりインバウンド需要の冷え込みが見込まれる。また、観光産業を支える事業者（飲食業や宿泊業等）は、少子高齢化による人口減少が原因で人材の確保等の課題を抱えている。

そこで、今回は関西の観光とその観光を支える産業に焦点を当てて、2030年の関西の観光にとって必要でありテクノロジーを活用した事業アイデアを創造することをテーマとする。

中テーマ 事業アイデアの対象となる顧客のカテゴリー

新しい観光

国外からの旅行者

国内からの旅行者

エンターテインメント観光

観光を支える産業

宿泊・観光施設

観光産業を支える事業者

その他

事業アイデア創出講座スケジュール（予定）

-
- 5月 ● キックオフ（プログラム全体説明・アイスブレイク）
 - 6月 ● テーマ探索（原体験の振り返り、関心の高い社会問題の検索） / チームビルド
 - 7月 ● 課題の特定～アイデア発想
 - 8月 ● ビジネスモデルの検討
 - 8月 ● プロトタイプ開発
 - 9月 ● 中間報告会 / ニーズ検証
 - 9月 ● アイデアブラッシュアップ合宿
 - 10月 ● ピッチ資料講座 / 全体フィードバック
 - 11月 ● OITPitch出場者選定会 / 全体フィードバック
 - 12月 ● OITPitch出場・参加
 - 1月 ● 最終報告会

プロトタイプ開発支援

事業アイデアを実現するためのプロトタイプを講座とは別にグループ単位で開発するための支援を行う。
支援の内容は大きく分けて、施設利用、技師による補助、資金補助の3つである。

施設利用、技師による補助

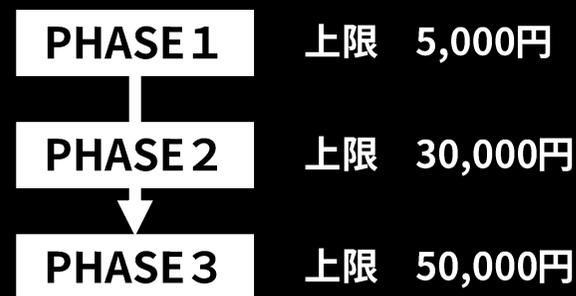
大阪工業大学梅田キャンパス8階のプロジェクトスペースが利用可
3Dプリンター、レーザーカッター、仮想現実空間オムニバースなどプロトタイピングを行う上で必要な設備が揃う
技師も平日在中のため必要があれば設備の活用をサポートする



プロトタイプ開発の資金補助

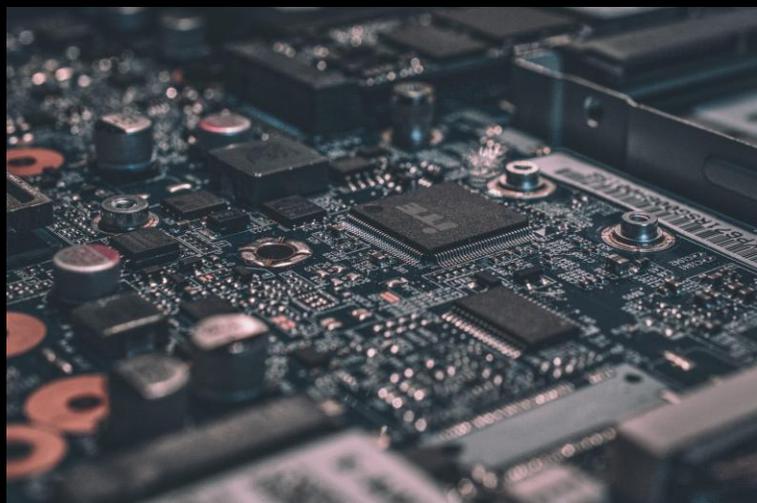
FASEを1～3に分け、各条件を達成するごとにプロトタイプ開発における予算の上限を拡大する

予算の活用はプロトタイプ開発に必要なセンサーや材料などを対象とする



自己拡張プログラムの内容

テクノロジー活用による自己拡張



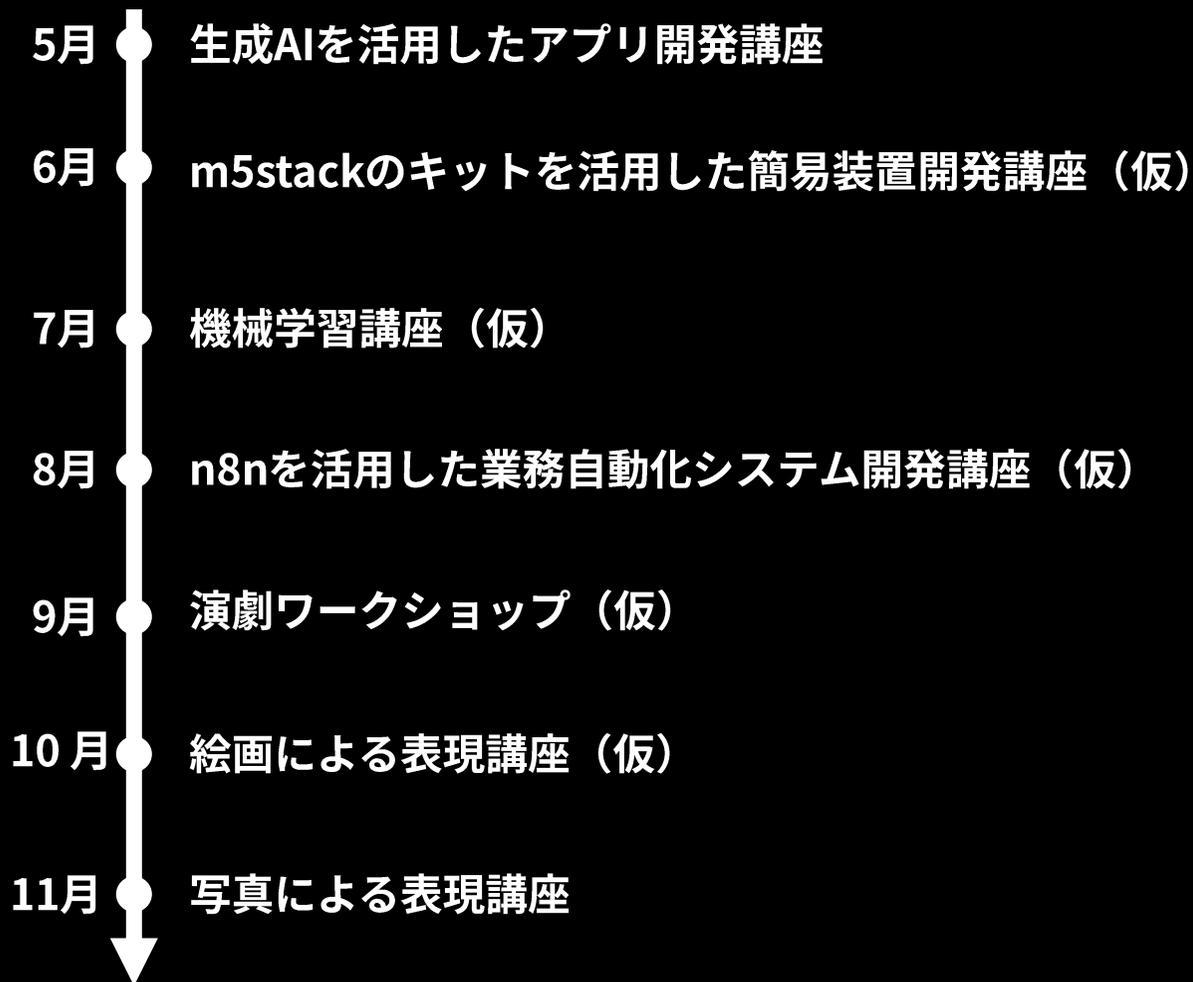
プログラミング、センサー活用、機械学習、AIによる自動化などテクノロジーを活用することに対する自己効力感を高めるワークショップを開催
全4回程度 各20名程度

自己表現による自己拡張



演劇やアートによる自己表現を通して、自分の内面を見つめ直し、自己概念の範囲を捉え直すワークショップを開催
全3回程度 各20名程度

自己拡張プログラムのスケジュール



革超プログラムのゴール

プログラム参加者は、本プログラムの最終ゴールである事業ピッチ会に向けて事業アイデアをブラッシュアップする。その中でも優秀なチームは大阪工業大学学内ビジコンOITPitchに出場し、さらに関西の14大学の代表者によるピッチコンテストKSPGPにチャレンジをする

事業ピッチ（最終報告会）



OIT Pitch（学内ビジコン）



KSPGP（学外ビジコン）



修了生に向けた認証バッジ付与

イノベーター育成プログラム「革超」において一定の条件を満たし、やり遂げた参加者に対して修了生としての認証バッジを付与

認証者はCIDReのHPにて修了生として名前を記載

イノベーター育成プログラム

革超 修了生

参加対象

本プログラムの参加対象は、関西圏の高校生、高専生、大学生、社会人とする
参加者数は30人～50人程度（5人×6～10チームを想定）

参加条件の詳細は以下の通り

参加条件

- ・ 社会の問題を解決したいという強い意志や、社会に新たな価値を生み出す人材のなりたいという思いを持つ
- ・ 課外プログラムであることから、大学の正規科目や研究の時間を除き、プロジェクト推進に必要な時間をコミットすることができる
 - ※事業アイデア創出講座は原則すべての講座に参加すること（欠席の場合は要相談）
- ・ 既存のアイデアに捕らわれず、プログラムの過程で自身の考えを柔軟に変化することができる